

(全六枚中の一枚目)

③ 中学校・高等学校 国語

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

□～○はすべての受験者が解答すること

一 次の文章を読み、(一)～(八)に答えなさい。

③ 中学校・高等学校 国語

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

(注) ○襖……襖障子の略。襖障子とは、細い木の骨を組み、両面から紙または布地を張り包んで作った障子のこと。

○阿部謹也……日本の歴史学者。専門はドイツ中世史。

○屏風……長方形の木枠に紙・布などを張り、重ねて折り畳めるようにした調度。

○障子……室内の仕切に用いる建具の総称。

○格子戸……細い木や竹を縦横に間をすかして組み合わせた戸。

○欄間……天井と鴨居との間に、通風・採光のために設けた空間。

○さがり壁……天井から下の方へ四十〜五十センチメートル下がっている壁。

○ペナールス……インド共和国北東部、ガンジス河中流左岸の都市。

(一) 二重傍線部①〜④のカタカナを漢字で書きなさい。

(二) 波線部「してみれば」を文法的に説明しなさい。

(三) A〜Cに入る語として最も適するものを次のア〜コからそれぞれ一つ選び、その記号を書きなさい。

ア	議論	イ	障壁	ウ	摩擦	エ	収束	オ	形成
カ	改善	キ	境界	ク	薫陶	ケ	再編	コ	言説

(四) 傍線部あ「結果的なこと」とあるが、どういうことか、本文の主旨を踏まえて具体的に書きなさい。

(五) 傍線部い「仕切によって導入しようとした」とあるが、その理由を書きなさい。

(六) 傍線部う「自在に動く」とあるが、どういうことか、六十字以内で書きなさい。

(七) 傍線部え「聖なる空間」とほぼ同じ意味で用いられている語句として最も適当な箇所を、文章中から十五字以内で抜き出して書きなさい。

(八) 日本における「仕切」とはどのようなものか、具体的に説明しなさい。

③ 中学校・高等学校 国語

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

二 次の文章を読み、(一)～(六)に答えなさい。

(注) ○竹の園生の末葉……皇族の子孫。

○一の人……摂政・関白の別称。

○ただ人……摂政・関白以外の普通の貴族。

○僧賀ひじり……天台宗の高僧。

(一) 傍線部あ「御門」、う「舍人」の読み方を現代仮名遣いで書きなさい。

(二) 傍線部い「かしこし」、き「手」の本文中における語の意味を書きなさい。

(三) 傍線部え「いとくちをし」とあるが、筆者はどのようなことについてこのように感じているのか、説明しなさい。

(四) 傍線部お「清少納言」の随筆と「徒然草」は日本三大随筆と呼ばれているものの内の二つである。残る一つの作品名とその筆者名を書きなさい。

(五) 傍線部か「あらまほしきかたもありなん」について、次の①、②に答えなさい。

① 授業の場面において、生徒が傍線部か「あらまほしきかたもありなん」を「望ましいところもあってほしい」と誤訳した。この場合、生徒はどのようにとらえて誤訳したと考えられるか、説明しなさい。

② 傍線部か「あらまほしきかたもありなん」について、適切な口語訳を書きなさい。

(六) 筆者は、どのようなことを願わしい(望ましい)ものとして挙げているか、説明しなさい。また、その上で何が最も重要であると考えているのか、そう考える理由も含め、説明しなさい。

③ 中学校・高等学校 国 語

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

三

次の文章を読み、(一)～(六)に答えなさい。なお、設問の都合により訓点を一部省いてある。

- (注) ○訕訕……自己の知に満足して、人の善言をよろこばないさま。
○士……賢者。
○讒諂……讒は賢者を讒言するもの。諂はおべっかするもの。
○面諛……口だけでお上手を言い、腹の中はそうでないもの。

- (一) 二重傍線部 a 「為人」、c 「四海」の意味を書きなさい。
- (二) 二重傍線部 b 「苟」、d 「与」、e 「可」の読み方を、現代仮名遣いで書きなさい。ただし、二重傍線部 e は送り仮名も含めて現代仮名遣いで書きなさい。
- (三) 傍線部 a 「魯欲使樂正子為政」を口語訳しなさい。
- (四) 傍線部 i 「然則奚為喜而不寢」と公孫丑が疑問に思った理由について、「然則」の具体的内容を明らかにして説明しなさい。
- (五) 傍線部 u 「好善優於天下」とあるが、解答用紙の白文に返り点を付けなさい。
- (六) 授業の場面において、この文章を読んで学習した後、「孟子」の主張について説明する場合、どのように板書するか、次の条件一～三に従い、解答欄を黒板に見立てて書きなさい。

- | |
|--|
| 条件一 「好善」、「不好善」の違いにふれながら、「孟子」が主張している内容について書くこと。 |
| 条件二 生徒のノート整理の見本として、文章の内容を簡潔に整理し、まとめること。 |
| 条件三 縦書きで書くこと。 |

③ 中学校・高等学校 国語

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

(中学校受験者のみ解答すること)

四

次の文は、新中学校学習指導要領(平成二十九年告示)「国語」の「各学年の目標及び内容」の「第二学年」の「内容」の「読むこと」である。あとの(一)、(二)に答えなさい。

(一) a～eにあてはまる語句を次のあ～そからそれぞれ一つ選び、その記号を書きなさい。

あ	報告	い	目的や意図	う	知識や経験	え	場面	お	人物像や物語
か	根拠	き	提案	く	事実と感想	け	主張と例示	こ	理由や事例
さ	言動の意味	し	要約	す	批評	せ	相互関係や心情	そ	文章と図表

(二) (1)のエの事項について、(2)のイの言語活動を通して指導するために、「詩を比較して特徴を説明する」という学習活動を設定した。次の①、②に答えなさい。

① 「文章の構成や論理の展開、表現の効果について考える」際の留意点を書きなさい。

② 「引用して解説する」を明らかにして、指導する際の留意点を書きなさい。

③ 中学校・高等学校 国語

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

(高等学校受験者のみ解答すること)

五

次の文は、新高等学校学習指導要領(平成三十年告示)「国語」の「各科目」の「現代の国語」の「内容」の一部である。あとの(一)～(三)に答えなさい。

(一) a～eにあてはまる語句を次のあ～そからそれぞれ一つ選び、その記号を書きなさい。

あ	表現	い	助言	う	精選	え	吟味	お	知識や体験
か	批評	き	実社会	く	主題	け	内容	こ	評価
さ	叙述	し	根拠	す	確認	せ	反論	そ	日常の言語生活

(二) (1)のイの事項について、(2)のイの言語活動を取り入れた学習を行うこととした。具体的な学習活動を考えて書きなさい。

(三) (2)のウの事項について、報告書や説明資料などにまとめる活動を行う際には、どのようなことを生徒に留意させる必要があるか、書きなさい。